

魚沼市ものづくりタイムズ



事務局：魚沼市役所商工課 792-9753 Fax 793-1010
メール通信先：産業振興係青木 (mail: aoki-susumu@city.uonuma.niigata.jp)

2006年1月4日 No. 2 魚沼市ものづくり振興協議会

謹賀新年

新年を迎えて

ものづくり振興協議会発起人会代表
今野勝吉（ホリカフーズ代表取締役）



会員のみなさん、新年おめでとうございます。本年も健康に留意され、ますますのご活躍をお祈り申し上げます。

思いがけぬ師走の大雪にみまわれ、市民生活は

大きな痛手をうけております。わたしの年代でも、歳まへの雪がこれ程に積もっていることは記憶になく、今季の冬将軍の力強さに驚くばかりです。

さて、本協議会は、我が魚沼市にもものづくりの産業基盤を作ろうと熱意ある関係者の発案により、発起人会を立ち上げ審議を重ね、その目的、事業内容、組織図など会としての輪郭、体制がかなり明確となってきました。

本協議会立ち上げ準備会もいよいよ終盤を迎えようとしております。これまでの皆様のご支援、ご協力に深く感謝申し上げます。さらに、年度内設立を目指し取組む所存ですので、引き続きお力添えをお願いいたします。震災復興を

最重点課題に進んできた魚沼市のこの1年。

新しい年は、さらに復興が進み、そして、これからの活動がよりよいまちづくりの一助となれますよう努力していきたいと考えます。



新しい技術のまちづくり元年

商工課長 柳瀬良一



明けましておめでとうございます。昨年はものづくり協議会立上げにあたりましてご尽力を賜り厚くお礼申し上げます。中越大地震・豪雪・豪雨といった自然

災害に打ちのめされた1年ではありましたが、企業の皆様の不屈の闘志により魚沼市においても新しい企業活動が芽吹きはじめたものと感じています。

バブル経済の崩壊、そして1990年代からの「失われた10年」が過ぎ、日本経済はようやく本格的な軌道に乗りはじめ、過去15年にも及ぶ長期低迷期にようやく終止符がうたれようとしています。これからの時代は経済のグローバル化、ボーダレス化の更なる進展によって、国内の産業構造、雇用環境そして技術革新の波はこれまでにない転換期を迎えているといえます。これまでの地域産業の基盤となる技術開発、人材・技術者の育成、雇用環境の整備といった施策は、国によって方針が示され展開されてきました。しかし、これからは地域が主体となってその特性を活かし、新しい産業・技術を興していくことが必要となってきます。合併により魚沼地域にも企業連携の形が見え始め、そのスケールメリットを活かした企業活動も一層広がってくるものと考えています。

2006年は、「魚沼市新しい技術のまちづくり元年」。魚沼市ものづくりストーリーは今始まります。地域産業・経済の活性化を確かなものにするため、官民一体となった取り組み、ネットワークを創っていきたいと考えます。

日本一のものづくり

商工課雇用対策係 風間(マッチ)



明けましておめでとうございます。ものづくり振興協議会の準備会では大変お世話になりました。今年は設立の年です。もっともご迷惑をおかけすると思いますが、懲りずにご指導ください。

ものをつくる技術者・職人がいなければ、人間の生活が成り立ちません。魚沼市からこの協議会から日本一と言われる「もの」が生まれことを願っています。本年もよろしくお願いいたします。

「ものづくり」は地域の活力！

商工課企業誘致室 吉田(タクちゃん)



明けましておめでとうございます。いよいよ今年、魚沼市ものづくり振興協議会のスタートの年となります。

「もの」は、現代の人間の生活に欠かせないものであり、「ものづくり」はまさに地域の活力であると思います。

皆様からご指導いただきながら、この振興協議会をとおして、魚沼市の「ものづくり」の発展に向けて一生懸命頑張りますので、どうぞよろしくお願いいたします。

初 夢

産業振興係 青木(ロバート)



快晴の雪原に家庭用除雪機、男たちは何やらアタッチメントを取り付けているようです。やがて、エンジン音とともに除雪機が動き

出しましたが、フライヤー先から雪は飛んではいないようです。そのとき、笑い声と拍手、人ごみのなかを背伸びしてよく見ると、ものづくり振興協議会の“のぼり”が付いた除雪機から『ミニかまくら』がポコポコと作られていました。やがて夜、そのかまくらには明かりが灯され、光の雪原が広がりました。

埼玉県南・東京北部地域受発注企業商談会

11月11日、埼玉県川口総合文化センターで開催された商談会にシンコー電気株の中川さん



(常務取締役・営業技術部長)と参加してきました。

長岡産業活性化協議会特別講演会

12月13日、長岡市グランドホテルで開催された常盤文克氏(花王株前会長、日本モノづくり学会会長)の『“ものづくり”を変える!』講演を拝聴してきました。



第32回 大田区ものづくり受発注商談会

2月16日、大田区産業プラザで受発注商談会が開催されます。魚沼地域ビジネス交流会のモデルとなったこの商談会に、参加または視察研修を計画しております。

商談会参加費1人4,000円(申込用紙は商工課有り)で1月20日が〆切となっています。商工課でも、研修出張を予定しております。(仮)ものづくり協議会会員で、参加または視察研修(1泊2日予定)を希望される方はご連絡ください。皆さんで行きましょう!

発起人会『ワークショップ』



11月22日、19時から発起人会を開催。発起人の皆さんが、日ごろ考えていることや、ものづくり振興協議会への思いを3つのグループに分かれてフリートーク形式で出し合い、特性要因図にしました。各グループごとに発表し、魚沼市の製造業の現状と課題を確認し、いち企業では取り組むことが難しいことを、ものづくり振興協議会という大きな枠組みで取り組むことを話し合いました。（別紙資料参照）

グループ討議では、意見をポストイットカードに書き出してもらいましたが、予想大きく上回るカードが貼られ、ものづくり振興協議会の役割の重大さを痛感しました。

魚沼市ものづくり振興協議会

協議会の方向性を考える特性要因図



急

ものづくりガイドブック作成中！

魚沼市では、市内の食品・鋼材・部品等の製造企業ガイドブック（A4版）を作成し、市内業者の卓越した技量を紹介する手段と考えております。何卒趣旨をご理解の上、市内製造業者をすべて掲載したガイドブックができますように、ご参加いただきますようお願い申し上げます。

なお、完成したガイドブックは、企業誘致や受注商談等に宣伝材料として効果的に使用させていただくため、すべて公開情報の取り扱いとさせていただきます。

まだ、間に合いますので（仮）ものづくり振興協議会加入予定企業の皆さんは、全社の参加をお願いします。

問合せ・申し込み 商工課（青木）☎792-9753